

えがお

オ5号

平成29年7月

もうすぐ夏休み。子供達の元気な笑い声がきこえてきそうです。また、ふるさとを離れて暮らす方にとっては帰省の時季でもあります。生まれ育った土地の言葉や空氣、ふるさとの味は、誰の心も優しく包んでくれるものですね。ふるさとのシャワーを浴びてたっぷり充電していくといいですね。

さて、近ごろ「かかりつけ医」という言葉をよく耳にします。何でも相談できるのが、かかりつけ医です。今日は、大きな病気で、一旦は入院したものの、わずか2ヶ月で再びご自宅での生活を取り戻した方のケースをご紹介します。

患者さん

かかりつけ医

病院

の3つがうまく連動しました。

ある日の緊急コール
～Aさんの場合～



母が声をかけても目を開けず、返事も無いんです。うずくまっていて、自分で歩けません。呼吸も弱いみたいで。いつからですか？

娘さん 今さきです。

Dr. じゃあ、行くよー



と聞かれたと、Aさんは…

呼びかけに反応なし、指示動作ができない、両手の脱力、呼吸もゆっくりでした。意識障害あり、脳卒中の可能性ありと診断されました。医師は⑤病院へ連絡、担当医師へ状態を伝えると「すぐ来て下さい!!」との返答でした。そこで直ちに救急車を要請、⑤病院へ向かいました。

⑤病院では…

⑤病院 Dr. 「心原性脳梗塞です。

発見から時間が早いので、

血栓を溶かす強烈薬

を投与

治療ができますがどうしますか？」

「お願いします!!」



▲血栓溶解療法▲

脳梗塞の治療は、時間との戦いです。早ければ早いほど治療の効果が高いのです。血栓を溶かす為、逆に出血のキケンもあります。ですからこの治療の適応になるとどうか、慎重にみていく必要があるのです！

ウラへ→

劇的な復活を遂げたAさんと、ご家族にお話を伺いました



発見した時は、慌ててしまって…
救急車を呼ぶか、松永先生にお願いするか
家族の中でも判断できませんでしたが、まずは
かかりつけ医である松永先生の指示を仰ごうと思
いました。家族の発見から、約1時間のスピードで治
療を受けることができました。治療後は著明
に神経所見は改善され、2日後、話すことができ
ました。その1週間後には、リハビリ病院へ移り、
約1ヶ月半、リハビリをした後、自宅に帰ってくこと
ができました。



気づいたら病院にいま
した。知らないうちに治って
いたという感じ。家族はびっくり
してしまったけどね。はじめは言
葉の出にくさがありました。今は、言
葉も増え、声も徐々に大き
くなりました。動かなかつた右
腕は、リハビリをして、自分で箸を使
て食べられるようになりました。今では、お
風呂も毎日自分で入っています。



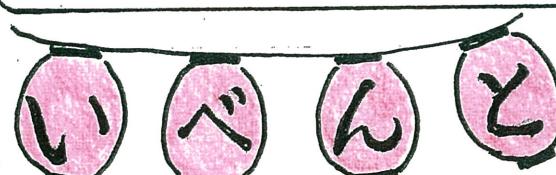
最後に Dr.H から 一言



今回のケースで良かったことは、ご家族が発見してすぐに、かかりつけ医に電話
をくれたことで、早期に対応ができたという点。

飲んでいたお薬や、今までにかかった大きな病気などが、救急の先生に伝わ
らないと、素早い対応ができないのです。普段から、お薬手帳を
提示できるようにしておきましょう。

慌てて救急車を呼ぶ前に、まずはかかりつけ医に相談を！



7月8日(土)・9日(日) 千倉祭礼

8月5日(土) 潮風王国 納涼祭

8月13日(日)～15日(火) ちくら BONフェスタ

13(日)
14(月)
千倉漁港

15(火)瀬戸浜海岸

9月23日(土) ロードレース 千倉

今年も松永りひのアスリート
鳩田さんが走ります!!



しまださん
がんばって~



～the best time～



シアワセ...



昨年8月に創刊のえがお
通信も、早いもので1号。樂しか
してます。次号はいつ?などと
聞いて、ありがとうございます。
これだけで、高高い木に
登ってしまいそうです。
先生方へのインタビューにはいま
リ、今では、患者さんのお達へも
おしゃまにりいて…。突然、
の取材のお願いにも、快く受け
下さり、ありがとうございます。
これからも、笑顔で、元気張
ります!! (さかこ)

